

えばやまきしょうかんでんじたいけん 江波山気象館展示体験マップ

Q 4

くも しょうたい 雲の正体はななに？雲の中に入って確かめてみよう。

みず こおり ①水や氷のつぶ ②ちりやほこり ③けむり



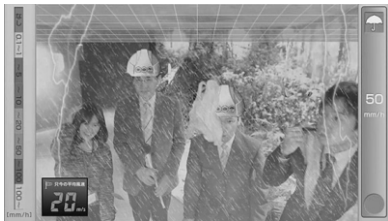
Q 2

びょうそく 秒速5m、15m、20mの風の強さを体験できます。
風に向かって歩けなくなるのは風速何mぐらいからかな？

①5m ②15m ③20m

④タイフーンボックス

⑤豪雨暴風疑似体験



あめがぜ つよ 雨風が強くなるとどんなことがおこるかな？
えいぞう 映像のなかで体験してみよう。

①映像コーナー

Q 1

うみ みず しょうはつ すいじょうき 海の水は蒸発して水蒸気になり、水蒸気が雲になり
くも あめ ふ もり かわ 雲が雨を降らせて森から川、そしてふたたび海へもどります。

このことを「なにの循環」というのかな？。

①水 ②空気 ③風



②突風カプセル



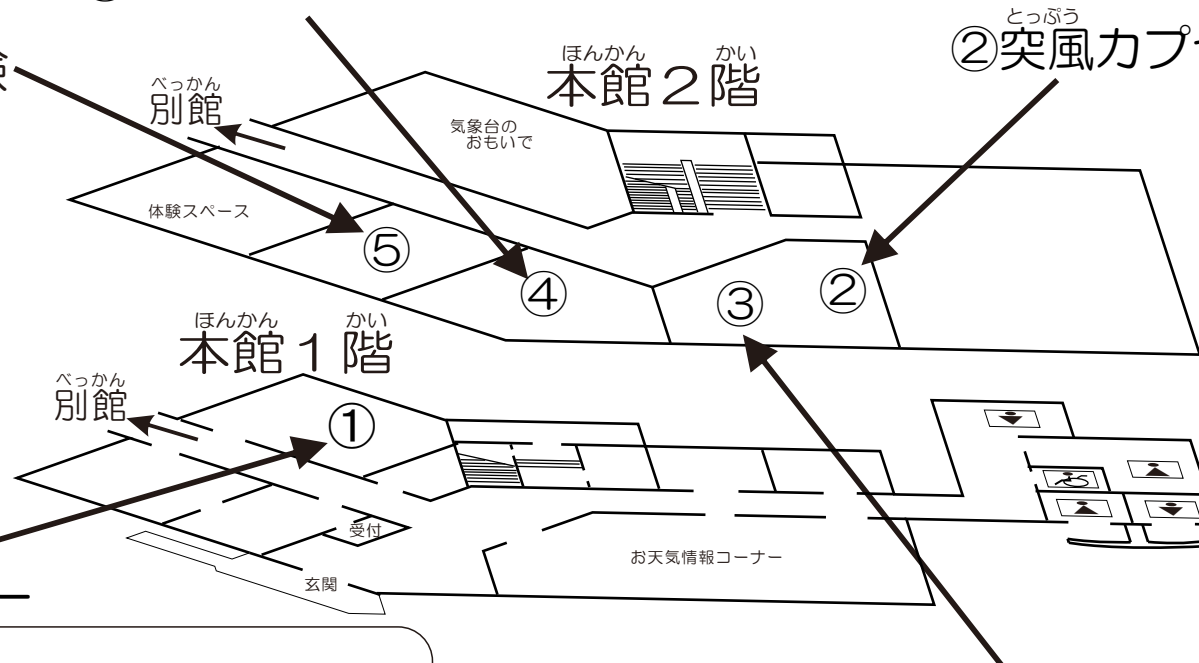
③フランクリンの実験室



Q 3

かみなり でんき はっけん 雷が電気であることを発見した人はだれかな？

①ワット ②フランクリン ③パスカル



えばやまきしょうかんへいわがくしゅうけんがく 江波山気象館平和学習見学マップ

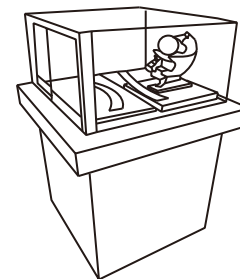
えばやまきしょうかん きゅうひろしまちほうきしょうだい たてもの しょうわ ねん がつ にち とうか げんしばくだん
江波山気象館（旧広島地方気象台）の建物は、昭和20年8月6日に投下された原子爆弾によって
ひがひ けいさあと とうじ きしょうだい ようす
被害を受けました。その傷跡や当時の気象台の様子などをみてみましょう。



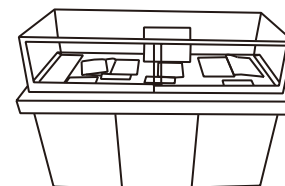
曲がった窓枠

①曲がった窓わく
爆風によって曲げられた窓わくです。
今は、ガラスがはまるように置いて
ありますが、わずかに曲がっている
ことがわかります。

②カンベル日照計
気象台の屋上に設置された日照計は、
原爆による雲によって太陽がくれた
時間を記録していました。



③8月6日の当番日誌
被害を受けた気象台の様子が
記録されています。

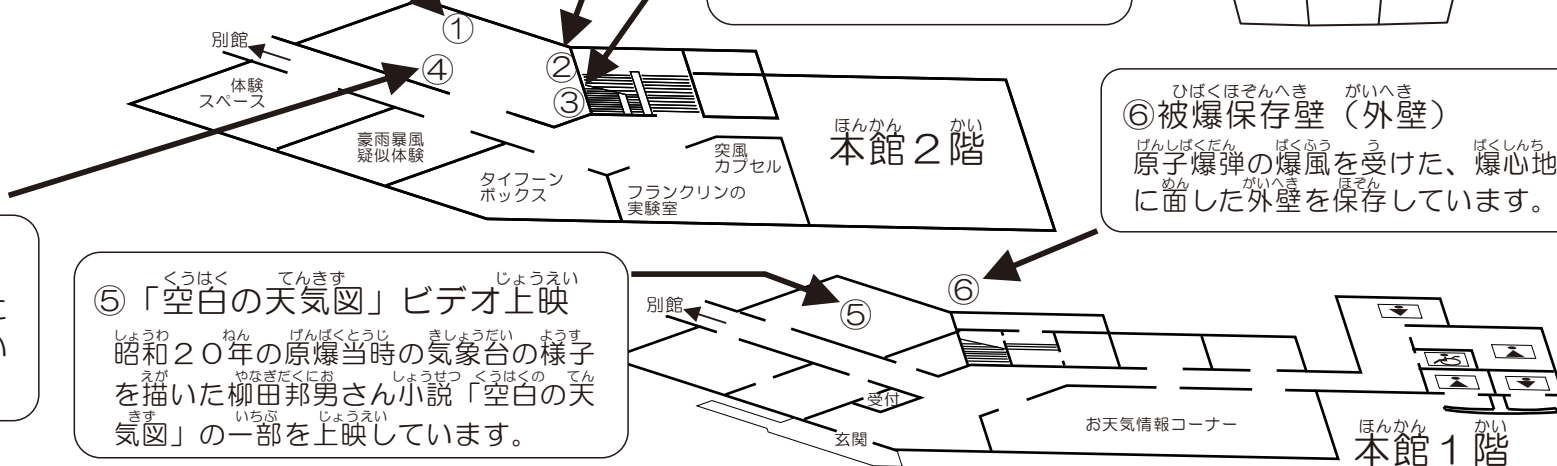


▲ガラスの破片が刺さっている場所

④ガラスの破片が刺さった壁
爆風で割れた窓ガラスの破片が壁に
刺さったままの状態で保存されてい
ます。

⑤「空白の天気図」ビデオ上映
昭和20年の原爆当時の気象台の様子
を描いた柳田邦男さん小説「空白の天
気図」の一部を上映しています。

⑥被爆保存壁（外壁）
原子爆弾の爆風を受けた、爆心地
に面した外壁を保存しています。



てんじめい
展示名

じぶん き
自分でみたり気づいたりしたことを記入しよう

- | | |
|-----------------|---|
| ①曲がった窓わく（ | ） |
| ②カンベル日照計（ | ） |
| ③8月6日の当番日誌（ | ） |
| ④ガラスの破片が刺さった壁（ | ） |
| ⑤「空白の天気図」ビデオ上映（ | ） |
| ⑥被爆保存壁（ | ） |